

加工・業務用野菜取組事例 ②

調査日(更新日)	平成26年11月28日(平成一年一月一日)
----------	-----------------------

1. 事業者基本情報	
事業者名	サンフルーベ(広印青果(株) 加工事業部)
代表者名	代表取締役社長 豊後厚成
所在地	広島県広島市西区草津港1丁目1-3
連絡先	TEL:082-279-2811 FAX:082-279-2833
ホームページ	http://www.hirojirushi.co.jp/kakoujigyou.html
連絡先担当者	加工事業部 部長 藤井禎洋

2. 経営の概要	
経営形態	株式会社
事業概要・取扱商品	カット野菜については、多種多様。市場で取り扱う青果のうち、長いも、ペコロス、ハーブ等以外は、すべて取り扱っているが、加熱処理は行っていない。
販売額	—
労働力・構成員	80数名(パート含む) カット部門約40名
生産・加工施設	広印青果(株)パッケージセンター 敷地面積1,019.37㎡ 建築面積606.46㎡ 床面積1,089.85㎡ 鉄骨造地下1階・地上3階 ※全館年間20℃以下で温度管理が可能な施設。
経営の推移と取組のきっかけ	カット野菜について、10年程前に、取引先から依頼を受けたのがきっかけ。カット野菜を始めて6年ぐらいは、売上げにつながらなかったが、ここ2、3年でそれなりの実績になってきた。 市場という立場もあり、仕入れをしてもらう業者とかぶることがないように、注意を払う必要があった。

3. 加工・業務用野菜の取組概要

原料入荷関係 (時期・産地・量)	市場で取り扱う品目で、市場、中間業者(仲卸業者)を通じて入荷している。直接契約を行っている場合でも、市場を経由している。
主な出荷先	ほとんどが、中食、外食、スーパーで、一部、病院にも出荷している。
販売額	—
出荷先からのニーズ	業務用を中心にカット野菜を量販店に出荷。異種混合した千切りキャベツ、レタス等そのままの状態でお店に出せるように、バーコードで管理している。 中間業者(仲卸業者)を通じて、2日前までに注文が入り、欠品を出さない様に対応している。 病院については、献立が決まっているため、献立に応じた、細かなニーズに対応している。
その他特徴的な事項等	温度管理された、オールステンレスの作業場で、徹底的な衛生管理を行っている。また、コールドチェーンで管理され、鮮度を保つ工夫をしている。 産地からも、市場やサンフルーベに来ていただき、加工工程や製品を見てもらうことで、信頼を得ている。
取組の成果	ここ2、3年でそれなりの実績をあげるまでになってきている。市場での加工用野菜の取扱数量も伸びてきている。
今後の展開	今後、市場の中間業者(仲卸業者)と競合しない範囲で、量を増やしていく予定である。現状では4時から18時まで稼働させているが、今後は23時間稼働させ、人員を増やす予定である。 機械化できるところは、機械化を進めていく予定。
生産者や産地に対する要望等	安定的な出荷体制づくりをお願いしたい。品質が一定なものを過不足なく安定的に供給して欲しい。
事業者からひと言	広印青果(株)の加工事業部として、鮮度のいいものを継続的にお届けできるように、引き続き努力していきたい。 加工工程について、分業化を進め、効率化することを考えている。

